

総務委員会会議録（要点筆記）

平成29年12月22日（金）

午後3時30分 開会

○成田吉毅委員長

「閉会中の調査事項について」を行います。本日、第1回の半田市立半田病院新病院建設候補地検討委員会が開かれました。それで、お手元の資料がそのときに配られた資料です。まず、病院の方から今日の説明の方をよろしくお願いします。

○都築病院管理課主幹

【資料に沿って説明】

○成田吉毅委員長

患者さんと支援病院のアンケートのことなのですが、2回目の委員会の後ぐらいにそういうものをする予定、2回目とはっきりしているわけではないのですか。

○大嶽病院管理課長

支援病院につきましては、医師会の会員の方に直接アンケートをとって、病院が西や北に行った場合に、患者さんを紹介されますかというような内容のアンケートを年内にできればやりたいという方向で今考えています。外来患者さんのアンケートについては、副院長が申しましたように、少し項目を絞って新年明けてから実施をしたいという予定で、まだ時期は決まっておりませんが、やるのであれば複数日をかけて、1日だけではなく何日間かを通して実施をしたいと考えています。DPCに関しましては、今名大の方に依頼をかけたまま、その分析結果を待っている状況で、現在届いてはおりません。

○成田吉毅委員長

名大の方は3月までにという考え方でよろしいでしょうか。

○大嶽病院管理課長

そのとおりで、できるだけ早くということはお願いしてあります。

○成田吉毅委員長

説明は終わりましたので、ご質疑があればお願いします。

○石川英之委員

今、雁宿ホールという話が先ほど出てきておって、次回にはその資料も出すという話だったのですけども、元々検討するうえで必要な4つの視点のなかの、まず第一に早期に新病院を建設することができることというなかで、おそらくここら辺は元々入れてなかったのではないかと思うのですけれども、結局、雁宿ホールを壊して造らなければならない、そうすると代替施設を、まずはそっちをとということになってしまうではないですか。何かのものが建っていてとなると、まず、いの一の早期の建設が不可能になってくるのではないですか。なのに、それは基本的には今日その委員会の中で、それは明らかに年数が余分にかかるので無理ですと断らなかった理由、では次回出しますなんて話は、それこそ後ろ向きな話でしかきこえないのですけれども、だとすると我々もここで今何か所か出してまいりますよ。僕は個人的には副市長と話をしたことがありますけど、自動織機のところを買って、今一番近いところではないですか、現病院と。だとか、いくらでも案は出そうと思えば出せてしまいますけど、実際、雁宿ホールは候補地に入れてしまうのですか。3か

所になるのですか、次回から。

○都築病院管理課主幹

大前提として私どもは、委員さんの討議の中で出てきたものは尊重するというか、討議の中で打合せいただいたことが大事なことで、こちらがあまり意見を言って、これはだめ、あれはだめと、誘導するようなかたちになってしまうと、それは市の方が何か作意的ではないかというようなことも、後々問題になるのではないかと、ですからあくまでも委員の中で、これを出そう、あれを検討しようというふうになれば、それについては、私どもはやぶさかではございません、資料を必要なものを出しますというような立場でお話しさせていただいたというふうにご理解いただきたいと思います。

○石川英之委員

尊重するということですか。

○都築病院管理課主幹

尊重するということです。ただ、時間等がかかるというその辺の基本的な話は、最初にもさせていただいておりますので、その辺の誤解はなかったと思っております。

○鈴木好美副委員長

今度のときに防災の方が来て活断層のことを話されると言ったのですが、地図にもあったのですが、北部グラウンドの近くに走っているのですが、説明をする教授がここはちょっと厳しいと言え、ここはもうないという考え方になるのですか。

○竹内病院事務局長

そこは、先生のお話だとか、実際の立地だとか本当に先ほどの会議の中で瀬口会長がおっしゃったように、どのぐらいの活動期だったのかとか、そういった断層自体のことも調べながら考えていきたいと思っておりますので、ここで予断を持って先生がこういったからこうだとかいうことは、現時点では即お答えすることは難しいかと思っております。

○久世孝宏委員

大前提の4つの視点のところを確認したくて、まず1点目は早期に新病院を建設するという早期という感覚が委員さんの皆さん納得をされていたかという点、ここというのはずっと早くにする、早くにするとは言うのですが、本当に早い方がいいか、遅くてもじっくりやってもいいものを建てた方がいいかという議論はやらずにきたなかで、その部分に対して何も言わなかったのかどうかというところとか、確認を僕はしておいた方がいいかというように思っている立場で、異論がなかったのかどうかというのが1点と、災害時に機能ができるというのは、逆に聞きたいのはどういう場所だと機能できないというふうなのだろうと、災害時に機能できるというのは、いくらでも手をかければ多分機能できるという話になっていくと思うですけれども、ここで敢えて4つの視点の中にこれを入れたというのは、例えば逆にここだと不適切だ、ここはだめだという例があると非常にわかりやすいのですけれども、そういう例がないにしても、これは一体何を言わんとしているかというところを確認がしたいというふうに思います。

○竹内病院事務局長

早期に建設しなければいけないところについては、委員会の委員さんの議論の中では、特に別に早く建てなくてもいいものだとか、便利なところに建てればよいというようなお話はありませんでしたので、このところは、委員の皆さんが早期に建てなければいけない

というところについてはご理解、納得頂けているものと考えております。

○成田吉毅委員長

しばらく休憩します。

午後 3時58分 休憩

午後 4時 6分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。

○都築病院管理課主幹

あくまでも、病院の建設をするうえで非常に大事な問題としては、災害拠点病院として機能できることということは今、半田病院が求められている大きな課題でございますので、この4つの視点の中に、災害拠点病院としての要件を満たすことというのは非常に大事なものとして残していきたいと思っております。ただ、具体的にこれが何を意味しているのかというのは、今後の検討の中でより明確になっていくかと思っておりますので、今この場で皆様方にこういうことかということ具体的にご説明はできませんので、今後の説明の中で整理させていただくということでご容赦願いたいと思っております。

○久世孝宏委員

できることとか、満たすことと言ってしまうと、まるか、ばつかみたいに見えてしまうのですが、そういうどっちがよりふさわしいとか、どういうメリットがあるかという比較のための一つの視点だという捉え方でよろしいですか。そういうふうに見ていった方がいいという理解でいいですか。要は比較をしていくうえで、これがいろんな多分災害時に機能できると言ったら、まるか、ばつかとなってしまいうのですが、そうではなくて拠点病院としてメリット、デメリットの話が出てくる中で、比較の一つの判断材料として様々な要件、条件が出てくる、その決めるうえでの比較の条件の柱として、一つの視点として災害拠点病院という視点で見ていくと理解でよろしかったでしょうか。

○都築病院管理課主幹

そのとおりでございます。

○小栗佳仁委員

私も4つの視点のところ、もう一つの半田病院の機能というのは、救急救命という大きな使命がある、ここの視点をこの中に入れないと、災害時は本当に何十年分の1日か、2日か、3日かはわからないけれども、そうしたことを考えていくうえで、救急救命という大事なところが4つの視点の中に抜けていて、ここが重要じゃないかというのを見ながら、次の主な病院という、知多半島圏における病院があつて、そうした救急救命というところを担っていく主な病院だろうかというところを見ていくと、非常にバランスの悪い状況になっていくのかと、半田運動公園に、例えばです。こういったところが見えてしまうのです。だからここに、救急救命というものを4つの視点の中に入れるべきではないかと思って、そこら辺の考え方は、書く時点でそういう考え方は一切ないということですか。

○成田吉毅委員長

しばらく休憩します。

午後 4時11分 休憩

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。

○竹内病院事務局長

7ページのところにも、求められる役割ということで、救命救急センターという記載がございます。もちろんこの救命救急センターという役割について、候補地を決めていくうえで重要な視点となると考えております。

○中川健一委員

10ページの4つの視点の、早期の新病院のことなのですが、石川委員とか、久世委員と一緒に考えなのですが、早期にやらなければならない根拠が教えてもらえるといいのです。つまり、過去の職員駐車場の場合の収益計画だったら、こうやって赤字にならずに病院ができる予定でした。今回市長の高台プランにした場合は、現時点でこれだけの赤字が3年後、5年後に予想されています、あるいは繰入金をこれだけ増やさなければいけませんので1年でも早く建設したいと、そういうことを、根拠をもって説明してくれれば、それはそうだという話になると思いますので、きちっと早くやらなければいけないという根拠を、レポートをちゃんと出してもらえる、出してくれないと困ります。早く、早くと言ったって、篠田先生みたいにああいう人たちは、経営評価委員会だから内容をよくわかっていて、よくご存じだからあまり意見は言わないかもしれませんが、やっぱり僕はいまだに早期、早期というのは違和感があるので、そういう意味で根拠をちゃんと示していただきたいのですが。

○都築病院管理課主幹

病院の老朽化ということがまず最初にあります。それにつきましては今回新年度予算にも計上させていただいて、新年度予算のところでご審議いただくことになると思いますけれども、現病院の老朽化に伴って設備を改修するというようなことも今後実際金額的に計上していきますので、そういったもので現実的に設備投資が出てきます。そういった意味でも、そういった投資に対して、今後それが病院経営に、赤字に関わってくるということは十分考えられると思います。具体的には設備を直していく金額を計上しておりますので、そういったそのお金を投資する、今の病院にお金を投資していけば、新病院へもまた建設費で投資していく、そういったものがダブルでお金がかかっていってしまう、それとは別に、例えば病院が手狭だとか、そういったものに対しても、取れるべき加算などもとれないとかいうことになってくると、そういった費用的なものも回収できないというようなところもございますので、そういったものも早く回収できるようになれば、病院の経営がそれだけ楽になるということもございますので、早めに病院は建替えた方が収益の安定という意味でもいいということがございます。

○中川健一委員

データでこれだけ赤字になるとか、例えば来年収益が厳しくなると言ったって、現病院は当然本来黒字でなければいけないわけです。単年度収支でいうと。だけでも、途中から病院を新しく建設するわけだから、そこでオーバーラップするお金とかいろいろあるし、今の累積赤字を新しい病院に持っていくとかいろいろあるわけじゃないですか。そういうのも含めて、早く建てないとこれだけ赤字が増えて経営破たんする、というか繰入金を本

当は6億円とか7億円の予定がもう20億も30億も出さないといけない、大変でしょとそういう話をちゃんと予測として出してくれないと、根拠がわからない、なんとなくそうやってお金がかかるのかというのは説明ではわかるのですが、実際にどれだけ今かかるか予測しているかわからないので、それをちゃんとデータとして出してくれば、まあそれはしょうがない、繰入金で20億も30億もなるなんて困るから、1年でも2年でも早く建てましょうと、そうすればさっきの雁宿ホールの議論なんかしている場合ではないですよということが説明できると思うのです。データできちっと早期にしなければ、これだけ新病院がのっけから赤字になるというデータを出してくれば、説明がしやすいと思いますので、その点そういう資料が出せないのかと、普通は出すものです。

○成田吉毅委員長

しばらく休憩します。

午後 4時21分 休憩

午後 4時44分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。

休憩中に話があった、早期に病院を建設することが第一義で、その次に経営的視点という話が出てきました。確認なのですが、今のところ考えられているのは、運動公園と北部グラウンドの2点ということでよろしかったでしょうか。

○竹内病院事務局長

今回提示させていただいたのもこの2か所ということのなかで、先ほど今日の検討委員会の中で、雁宿ホールも少しということもありましたので、それについてもいろいろな資料を出させていただくということで進めます。

○成田吉毅委員長

その二つが今後、検討委員会の中で意見を議論がなされると思うのですが、そこよりも優位な場所が出てくるようなことはないようにというのは変ですけども、その根拠となるような資料をなるべく早い段階で、運動公園と北部グラウンドがおおまかにこれだけコストがかかるとかというのは、次回の検討委員会にそういった資料がでてくるということでもよろしかったでしょうか。

○大嶽病院管理課長

おっしゃるとおりです。

○成田吉毅委員長

2か所のデータが出てくるということなのですが、やはり4つの視点のうちの早期に建設できる2か所の理由づけ、だからそうなのだというようなものが出していただくとありがたいです。検討委員会では特に早期というのは委員さん皆さんがご納得されていた様子なので、委員会として今後また何か出てきて、やはりこっちの方がよかったのではないかと、あらぬ方向へ行かないような何らかの根拠的な資料を出すことを要望したいのですが、それについていかがでしょうか。

○都築病院管理課主幹

当然、土地を選定していくうえでは、工事費などいろいろなものも積み上げていくことになりますので、その積算をもとにあとそれが例えば今後病院の経営にどう関わってくる

かという内容につきましては、できるだけ、持ち帰って回答させていただきますけれども、なにかそれらしいかたちでご提案できるように努力はさせていただきますので、今のところどのようなかたちとなるかわかりませんが、皆様のご期待に添うようなかたちでお配りさせていただくということでご返事させていただきたいと思っております。

○中川健一委員

あと、災害時に機能できることという、いろいろ議論がありましたので、これというのは結局愛知県に認可してもらえるかどうかというそういう基準ということではないのかと、話を聞きながら思っていたのですが、どっちにしても愛知県がだめだと言えば災害拠点病院の場所としてはふさわしくないはずで、確か新聞記事も市長が大村知事から災害拠点病院としてはちょっと難しいみたいな、愛知県が災害拠点の認可もしている手前、運動公園の辺りがいいのではないかと、みたいなことを言われたというふうに書いてあったと思いますので、そういう観点とはちょっと違うということなのではないでしょうか。

○成田吉毅委員長

しばらく休憩します。

午後 4時49分 休憩

午後 4時51分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。

ほかに、ありませんか。

【発言する者なし】

ないようですので、本日の総務委員会は閉会いたします。

次回のこの会は1月16日午前9時から行いますのでよろしく申し上げます。

午前 4時52分 閉会